

止めるぞ風しん



国の風しん対策 実践セミナー

～風しんから社員と
お客様を守るために～

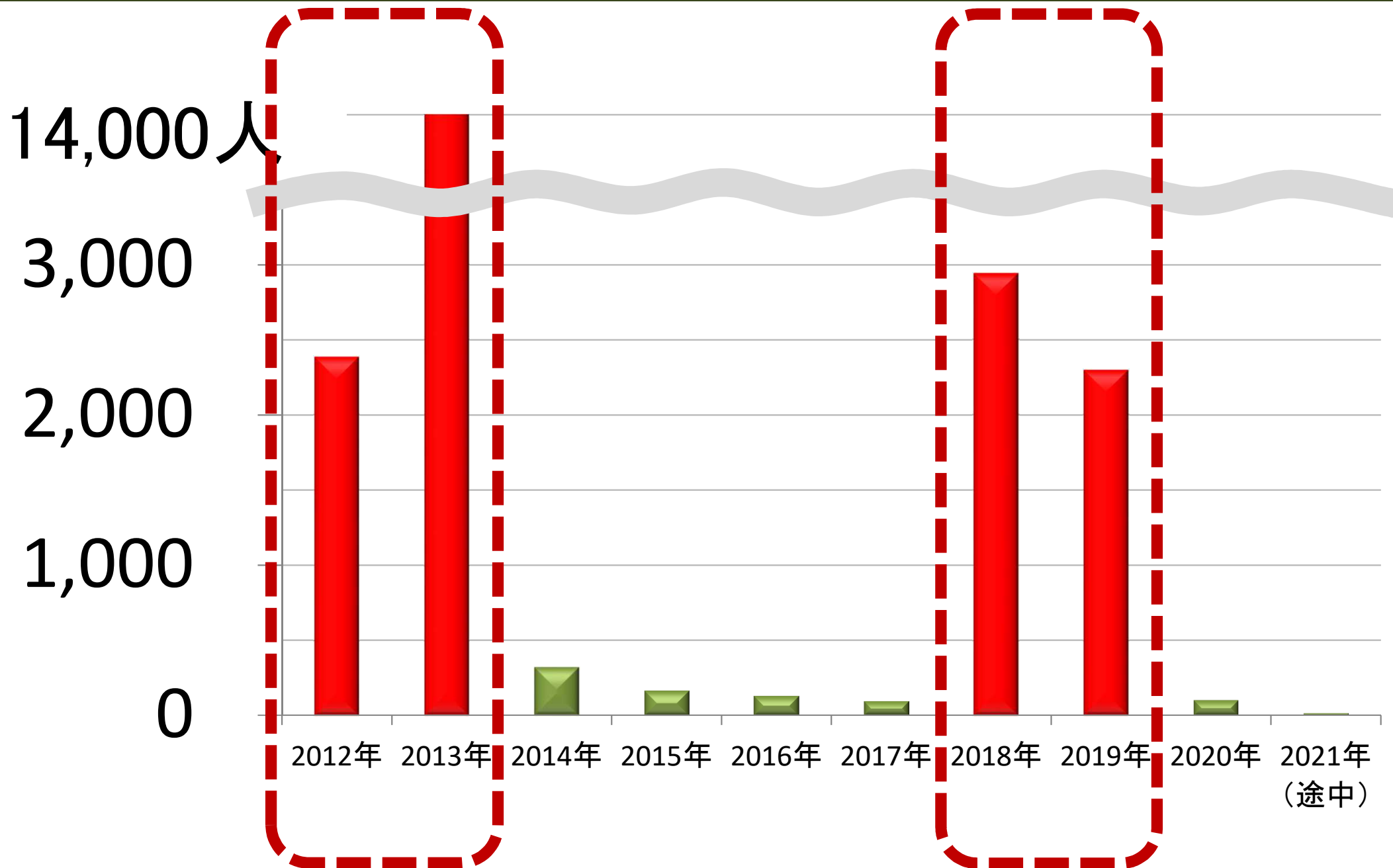
企業運営のリスク・マネジメント

例えば、

- ・新規事業の進展
- ・取引先との関係性
- ・地震などの有事の際の対応

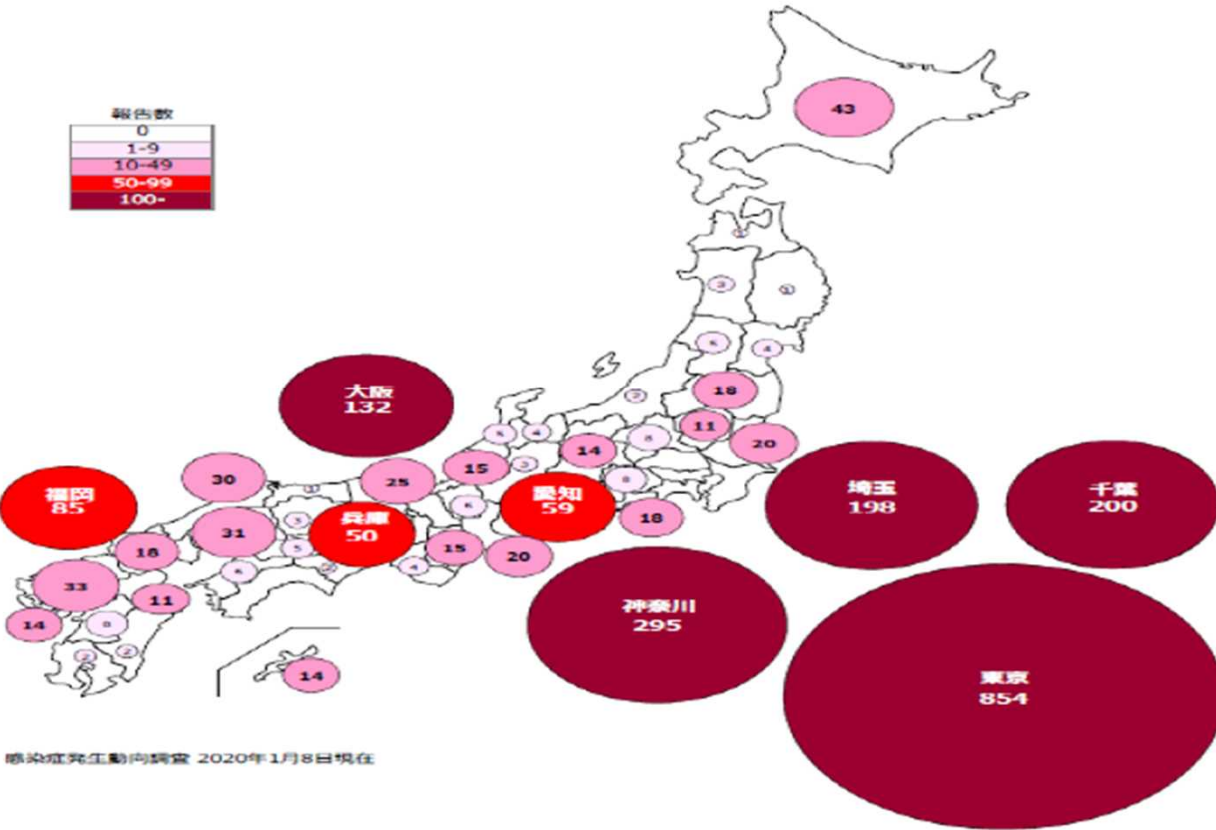
- ・社内の感染症
特に、『風しん』という感染力の
強い感染症

風しんの流行状況



中心は大都市圏

都道府県別風しん累積報告数, 2019年 第1~52週 (n=2,306)



感染症発生動向調査 2020年1月8日現在

【要約】
推定される感染源は、
職場が最多。
職場内で
複数名の発症が
認められたことも。

推定感染源(抜粋)

推定感染源は、2,306 人中、特に記載がなかった者が1,653 人(72%)と最も多く、不明・不詳・情報なしと記載された者が214 人(9%)であった。

また、何らかの記載があった男性338 人の内、職場/会社の同僚/上司・職場/会社で流行・仕事等、「職場」と記載があった者が204 人で最多で、この内32 人は、職場内で流行あるいは複数名の発症が記載されていた。

職員が風しんに感染した場合

例えば、突然のお休み!?

⇒他の職員による業務のフォロー

例えば、家族、他の職員、取引先に感染拡大!?

⇒感染拡大へのリスク対応

参考

(株)キャタラーでは、客先等への訪問自粛、来訪の取りやめ依頼、創設記念式典、各種講演会のイベント中止等の対応がとられた。

リスクが高い理由

- ・インフルエンザよりも強い感染力。
- ・発疹や発熱等の自覚症状がなくても感染が拡大

特に深刻なケース



先天性風しん症候群（CRS）

- ・特に**妊娠初期**に感染した場合に出生児に高確率※で生じる障害。
 - ・先天性**心疾患**、**難聴**、**白内障**が三大症状。
- ※妊娠1ヶ月で50%以上、2ヶ月で35%、3ヶ月で18%

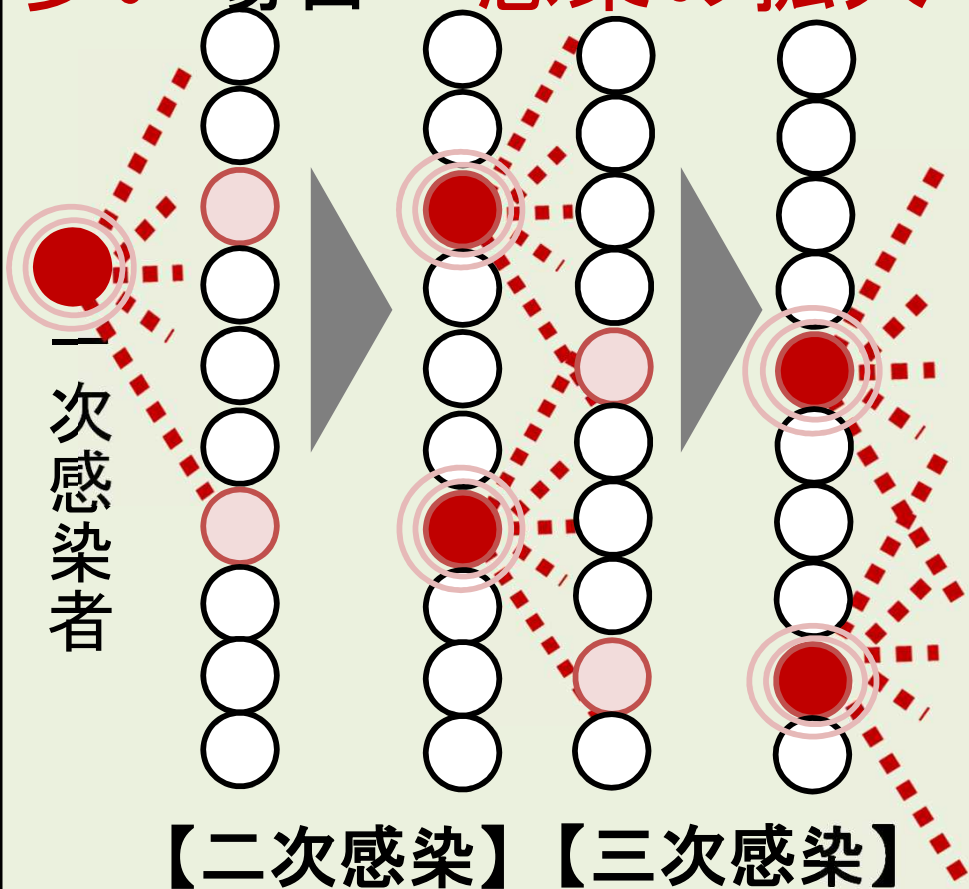
出典元：国立感染症研究所

先天性風しん症候群の児に見られる主な症状

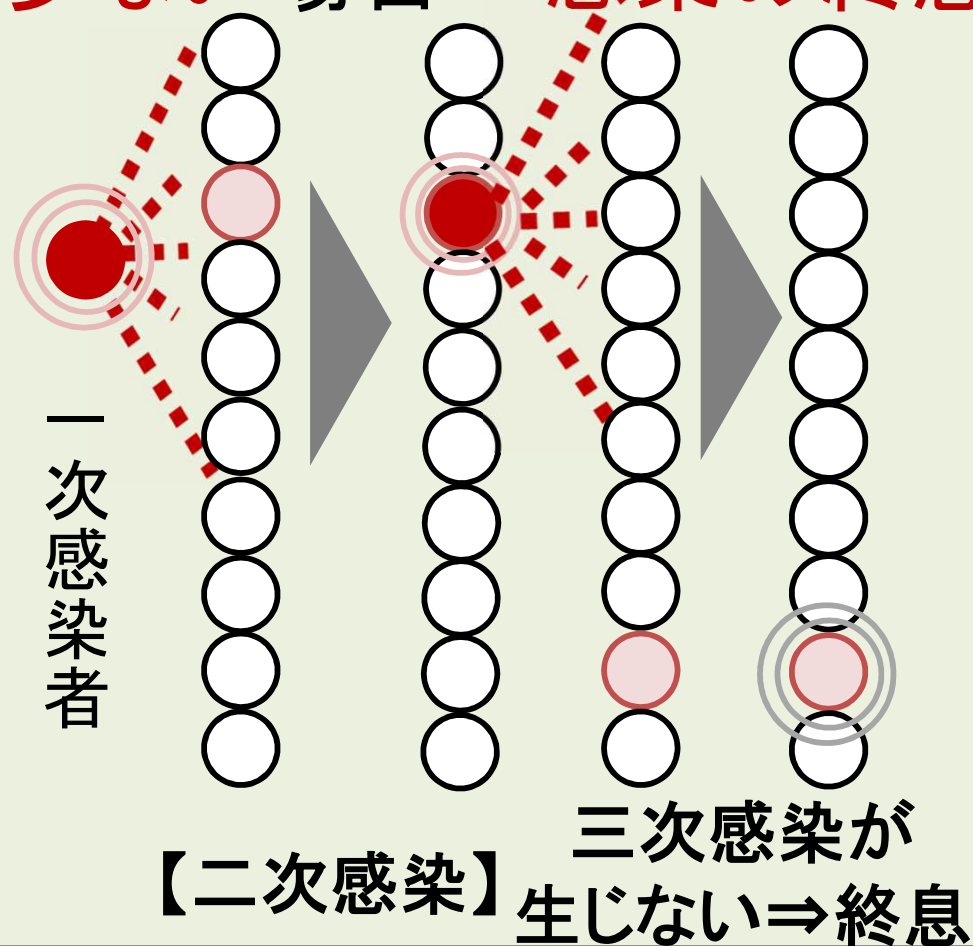


感染拡大のメカニズム

免疫を持っていない方が多い場合⇒感染の拡大



免疫を持っていない方が少ない場合⇒感染の終息



- 感染者(うつす) ● 免疫がない者(うつる&うつす)
- 免疫がある者(うつらない&うつさない)

風しんへの感染リスクを減らす方法

風しんの流行は、
突然やってきます。

1976年

1982年

1987年

1992年

2012年

2018年

20??年



次は、今年かもしれません。
対象者の42歳～59歳の男性に、風しんの抗体検査と
予防接種のクーポンをお送りしています。
次の流行を起こさないために、
そして、あなたと、周りの人の安心のために、
少しでも早い検査と接種に、ご協力ください！

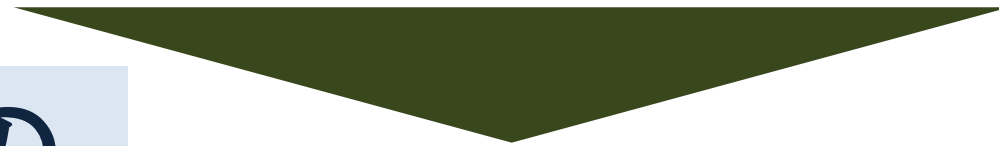
クーポンが届いたら、
風しんの抗体検査・予防接種を！

風しんワクチンの接種の歴史

予防接種の

導入前（風しんが蔓延していた時代）

⇒ 風しんへの**自然感染&治癒により**
免疫を獲得していた世代



予防接種の

導入後（風しんが蔓延していない時代）

⇒ 風しん**ワクチンの接種により**
免疫を獲得している世代

風しんワクチンの接種の歴史

ポイントは予防接種の『導入直後』の世代
～女性だけに定期接種をしていた時代～

その世代の男性は

- ・ ワクチンを受けることもなく
- ・ 自然感染 & 治癒することもなかった

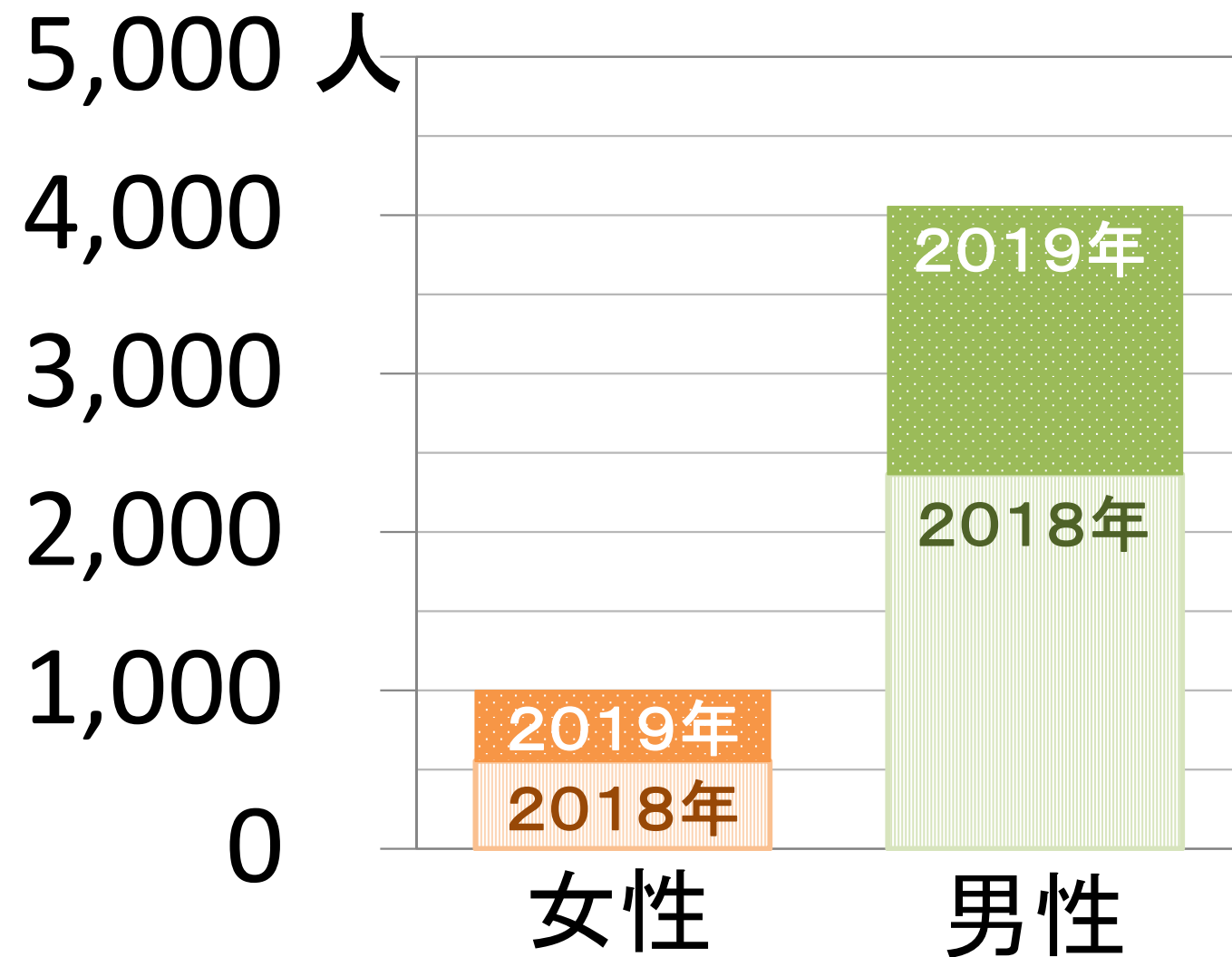
そのような方が一定数存在。

⇒風しんへの免疫がない方が他より多い。

⇒つまり、**感染を拡大させやすい世代。**

それが2022年4月現在**43歳～60歳の男性** 9

風しん患者の発生状況



特徴その1

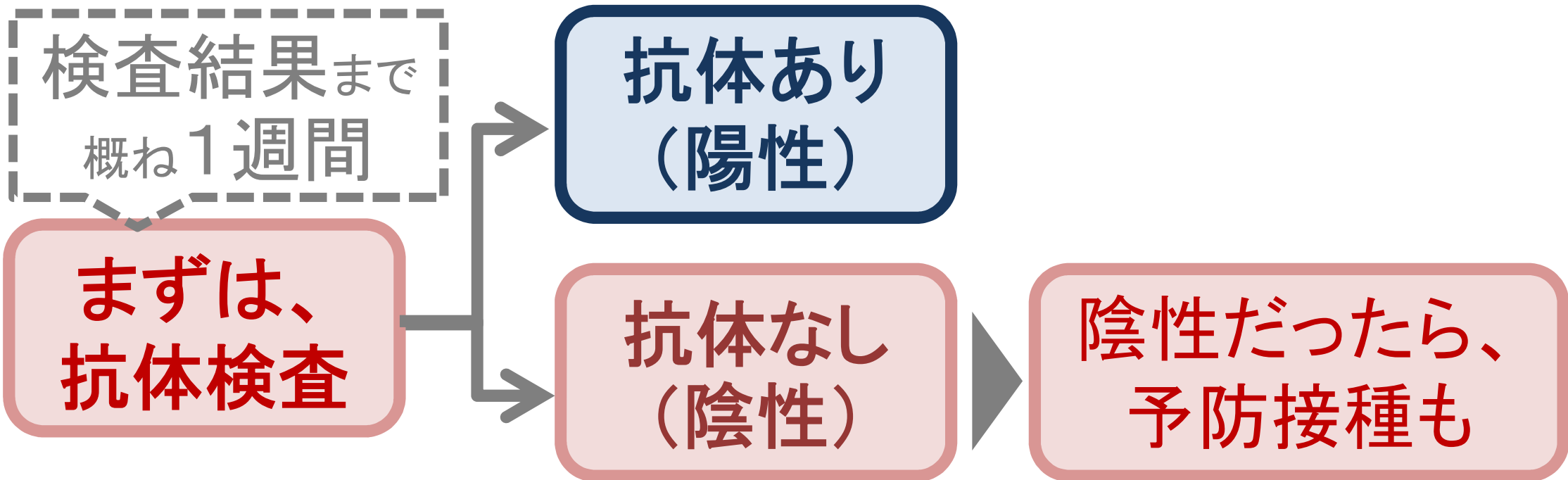
男性が中心

特徴その2

男性患者の
約半数が
40～50代

⇒患者の特徴が**女性だけに定期接種を**
していた世代と重複 ←**ココが要点!!**

国の風しん対策（2025年3月まで）



- 2022年4月現在 **43歳～60歳**の男性を対象
- 全国で抗体検査・予防接種を原則無料で受けられるクーポン券を送付。
- **健診でも利用可能**なクーポン券

企業の皆様へのごお願い

2025年3月までに
920万人に検査

2022年12月末までに
480万人に検査

2021年11月時点で
360万人に検査

対象世代の男性は
40歳～50歳代。

- ・ 利便性をより高めるには、**企業の協力が不可欠**。
- ・ **企業負担なし**で風しん対策を実現可能で、**企業側にも利のある話**。

「自分のため」だけでなく、
「みんなのため」にご協力を。12